

MB(-Z)/MB1(-Z)/CA2(-Z) Series パッキン交換要領 1

1 シリンダの分解

シリンダは清浄な場所で分解・組付を行ってください。

MB/MB1 Series

作業工具は表1を参照してください。

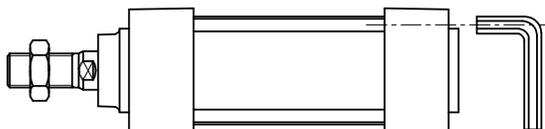


表1 作業工具

チューブ内径	六角レンチ対応寸法	
	支持金具を取り外す場合	タイロッドナットを取り外す場合
32,40	4	6
50,63	5	8
80,100	6	10
125	8	12

CA2 Series

作業工具は表2を参照してください。

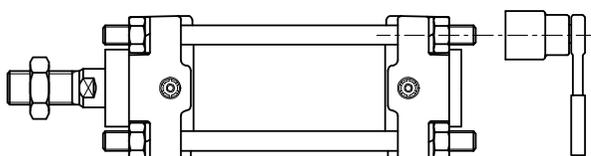


表2 作業工具

チューブ内径	適用ソケット
40,50	13 (M8)
63	17 (M10)
80,100	19 (M12)

2 パッキンの取り外し

① ロッドパッキン、クッションパッキン

精密ドライバーなどを差し込み抜き取ります。

カバーのパッキン溝に傷をつけないように注意してください。(図1参照)

② ピストンパッキン

図2のように取り外してください。

③ チューブガスケット

図2と同様の方法で取り外してください。

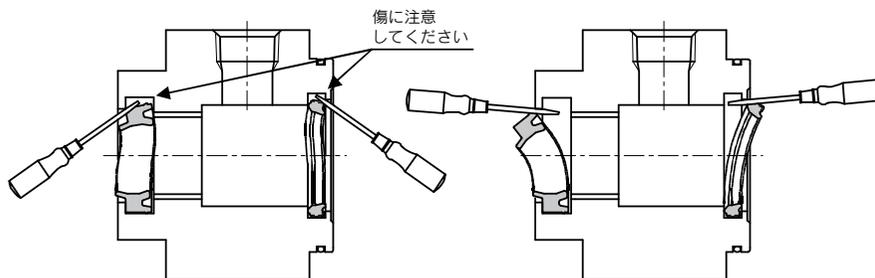


図1 ロッドパッキン、クッションパッキンの取り外し

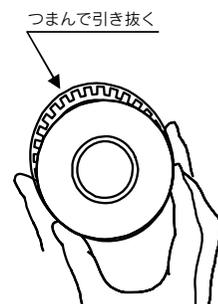


図2 ピストンパッキンの取り外し

3 パッキン類へのグリースの塗布

- ①各パッキンの外周に薄くグリースを塗布してください。
- ②ロッドパッキンの溝部にはグリースを充填してください。



図3 パッキン類へのグリース

4 パッキンの装着

- ①ロッドパッキン、クッションパッキン
パッキンの方向を間違えないように装着します。図4のようにパッキンを指で曲げて装着してください。
- ②ピストンパッキン
図5のようにパッキンを引っ張りながら装着してください。

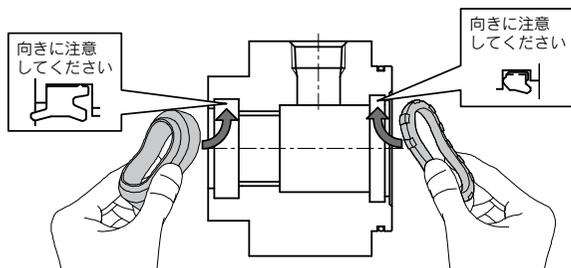


図4 ロッドパッキン、クッションパッキンの装着

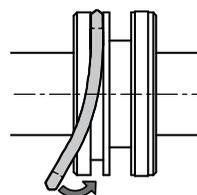


図5 ピストンパッキンの装着

5 グリースの塗布

- ①ロッドパッキン、クッションパッキン
グリースをパッキンとブッシュ内周全体にわたって塗布してください。(図6参照)
- ②ピストンパッキン
グリースを擦り込む要領でパッキン溝内部と外周に塗布してください。(図7参照)
- ③シリンダ各部品
図9の各部品にグリースを塗布してください。100stのシリンダ1本につき表3の量のグリースが必要です。目安としては人差し指ですくった程度が約3gです。(図8参照)

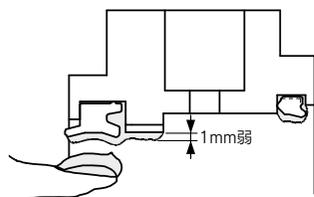


図6 ロッドパッキン
クッションパッキン

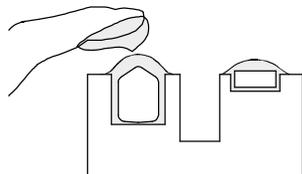


図7 ピストンパッキン



図8 グリース量

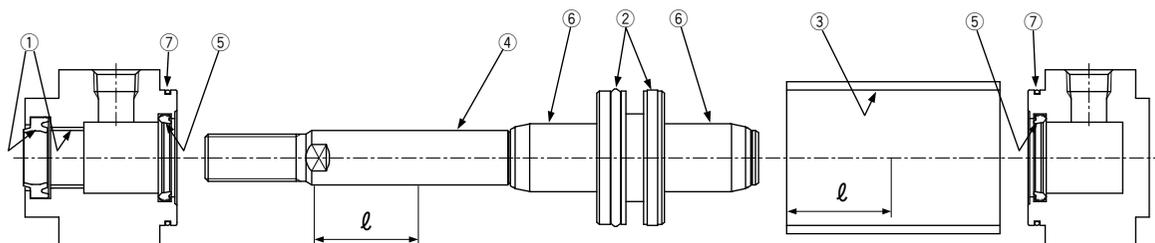


図9 グリース塗布位置

$$\ell = \frac{\text{ストローク}}{2} \text{ または } 100\text{mm以上}$$

アクチュエータ

モジュラフォーマ
圧力制御機器

圧縮空気清浄化機器

工業用フィルタ

交換要領

アクチュエータ

モジュラフォーマ
圧力制御機器

工業用フィルタ

MB(-Z)/MB1(-Z)/CA2(-Z) Series パッキン交換要領 3

表3 グリース塗布量(g)

ストローク	ボアサイズ							塗布位置
	32	40	50	63	80	100	125	
100ストローク時	3~4	3~4	3~5	4~5	6~8	8~10	15~17	①②③④⑤⑥⑦
50ストローク割増	1	1	1	1.5	1.5	2	3	③④

6 シリンダの組立

- ①ゴミ等が付着していないかよく調べ、パッキン等を傷つけないように行ってください。
- ②タイロッドはねじ長さが短い方に手でタイロッドナットを最後までねじ込み、シリンダに組み込んでください。
- ③反対側のカバーよりタイロッドナットを取り付け、タイロッドの張力が均一になるようにタイロッドナットを締め付けてください。
締め付ける際は、表4,5の適正締め付トルクにて締め付けるようにしてください。
支持金具の締め付も同一です。

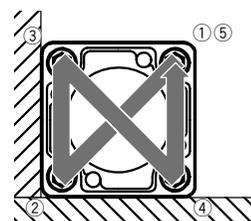


図10 タイロッド締め付順序

MB/MB1 Series

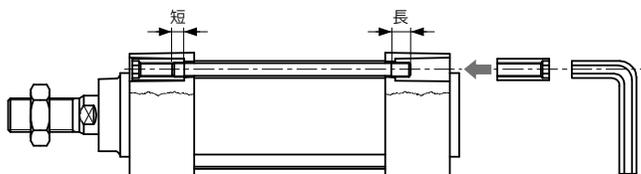


表4 適正締め付トルク

チューブ内径	適正締め付トルク (N·m)
32,40	5.1
50,63	11.0
80,100	25.0
125	30.0

CA2 Series

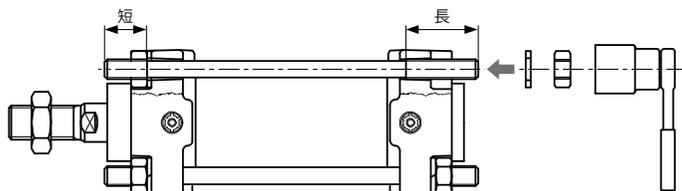


表5 適正締め付トルク

チューブ内径	適正締め付トルク (N·m)
40,50	10.8
63	24.5
80,100	38.2